

### 事業の概要

1・2年生を主な対象とした<First Step>と2・3年生を主なターゲットにした<Second Step>からなる2段階の国際派社会人育成プログラムである。  
 <First Step>：1・2年生を対象に学内で学修した内容を「臨地実習C（海外）」を通して深化させる。  
 <Second Step>：2・3年生を対象に<First Step>からの継続的な効果を得るように、語学研修の参加支援、語学検定試験合格者への受験料補助（上級級合格者に対して）を行う。

### 事業の計画内容

#### 学内（正規科目）

##### 協働研究セミナー

多文化共生、格差・差別、地域おこし、交流、協力

##### 社会・文化

スペイン・ポルトガル・ブラジル・中国・台湾・韓国

##### 外国語

スペイン語・ポルトガル語・中国語・韓国語

学外や海外での活動や議論の題材として活用

教室で学んだ各地域の社会・文化を直接体験する機会を提供

学習してきた言語を試し、外国語で意思疎通を図る喜びと難しさを体験

#### <First Step>

##### 臨地実習C（海外）

中国福建省の閩南師範大学で  
チューターとして活動

韓国ソウルの国民大学で日韓の共通課題を学ぶ活動

中国と韓国の大学と連携し、学生の現地調査および現地学生との協働学習を企画・実施

#### <Second Step>

##### 語学研修

##### 語学検定試験

#### 期待効果

##### 地域研究

地域問題への関心が卒論研究につながる

##### 長期留学

長期留学への心理的ハードルを下げる  
とともに強い動機づけを与える

1・2年

2・3年

### 達成目標・期待される効果

- ・学外や海外へと学習の場を広げることで、グローバルコミュニケーション学科としての魅力を対外的にアピールし、志願者増を期待できる。
- ・学生が学内での学習をもとに、地元企業や海外大学で学習内容を深化させることで、学生自ら成長を実感し、学習への意欲を高めることにつながる。
- ・地域研究や長期留学に積極的に取り組む学生を輩出することが可能になり、静岡が求めるグローバル人材を育成することに資する。
- ・学科内にも学生間や教員間にもインパクトが与えられ、また対外的な活動が増えることで、教育や研究への波及効果が期待できる。

本事業を対外的にアピールし、新たな志願者層を掘り起こし、志願者増につなげるため、学部広報ちらしの活用、大学ガイドブックや（可能であれば）学科HPに掲載、高校訪問やオープンキャンパス等での宣伝をする。